

CUACAの移行手順(10.5.X ~ 11.X.X)

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Attendant Console(CUAC)Advanceバージョン10.5.2とSQL Express 2008をMicrosoft Server 2008からCUAC Advanceバージョン11.0.2にMicrosoft Server 2012で移行する手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Attendant Console Advanced
- Microsoft SQL Server 2008 Express

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CUAC Advanced 10.5.2
- CUAC Advanced 11.0.2
- Cisco Unified Communications Manager 10.5.2.
- Microsoft SQL Server 2008 Express
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいています。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、設定変更による潜在的な影響について理解しておいてください。

設定

次の表に、fromシステムとtoシステムの両方の仕様を示します。

| | 変更前 | 変更後 |
|--------|--|---------------------------------|
| バージョン | CUACA 10.5.2 | CUACA 11.0.2 |
| サーバ OS | Server 2008 R2 Enterprise - SP1 64ビット | Server 2012 R2 Standard - 64ビット |
| データベース | SQL 2008 Express Server SP3 | SQL 2008 Express Server SP3 |

ステップ1：移行するサーバがCisco Unified Attendant Console Advanceのハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認します。

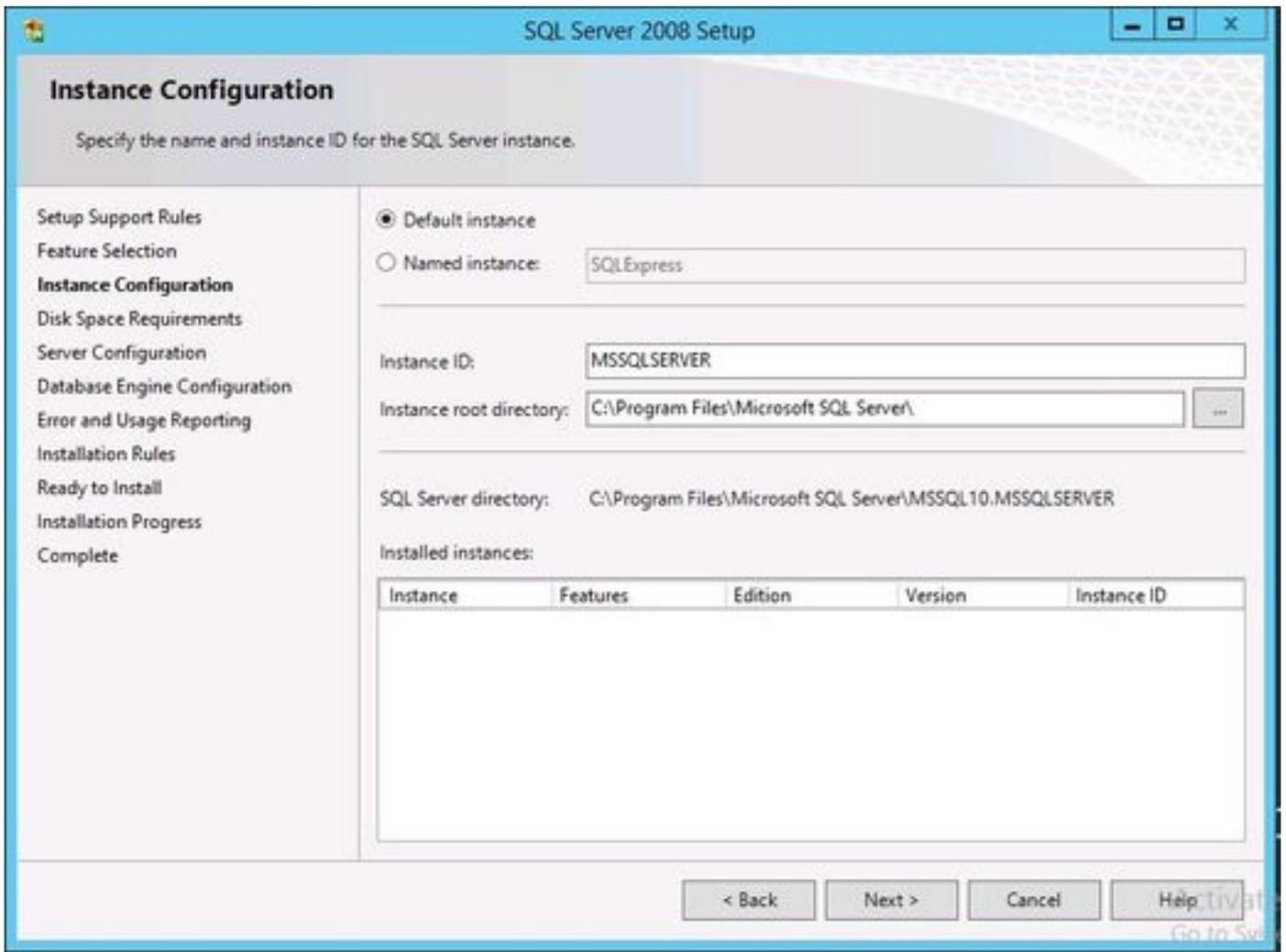
https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucmac/cuaca/11_0_2/install_admin_guide/CUACA110201WAG.pdf

ステップ2：サポートされているSQL Expressデータベースに基づいて、それぞれのSQL Expressデータベースをインストールします。ラボ環境には、SQL 2008 Express Server SP3がインストールされています。

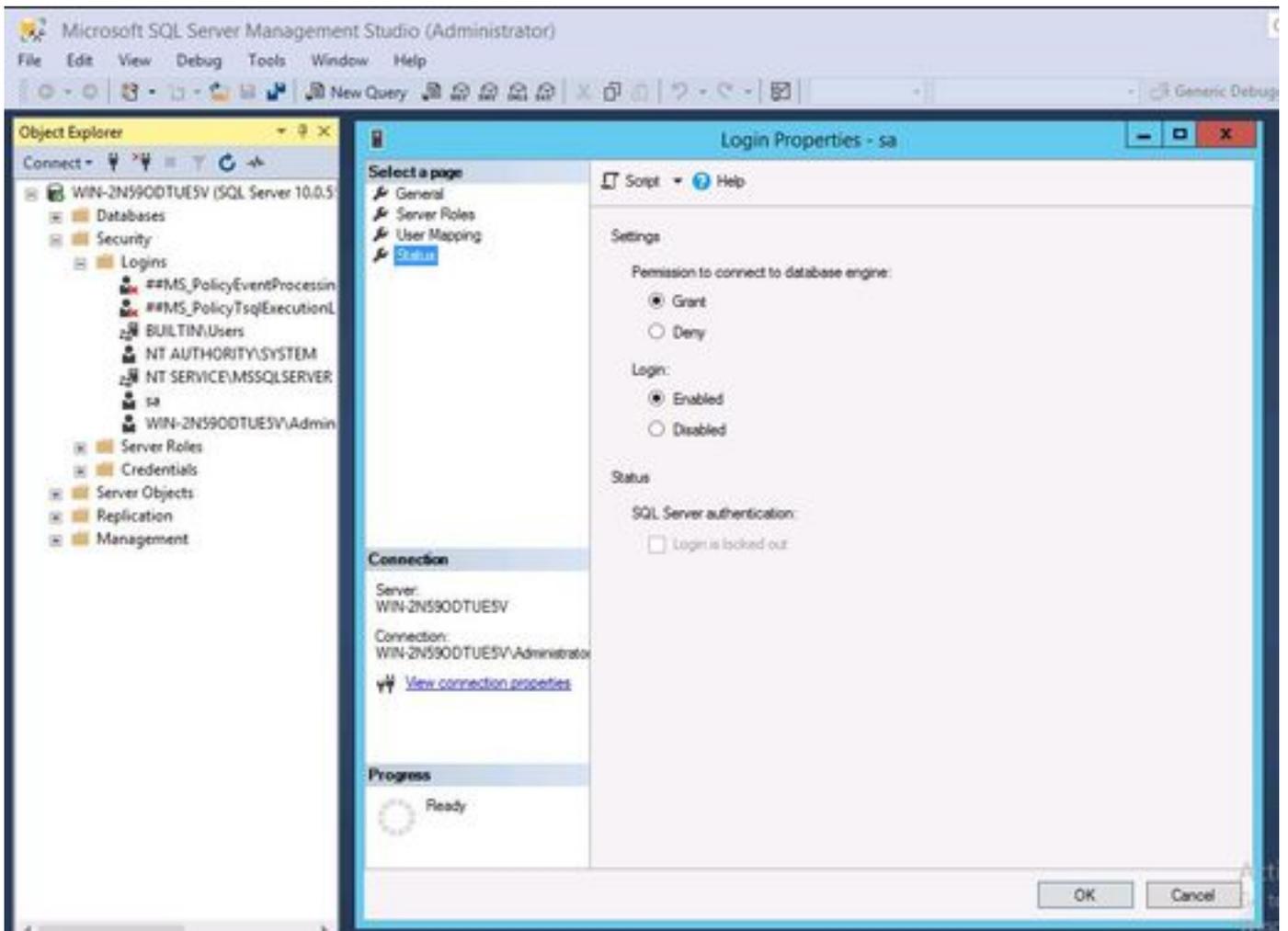
ステップ3:SQL Server 2008のインストールに関しては、『CUAC Advanced Administration and Installation Guide』を参照してください。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucmac/cuaca/11_0_2/install_admin_guide/CUACA110201WAG.pdf

注：インストール中に既定のインスタンスを選択すると、名前付きインスタンスが選択され、SQLインスタンスに<Computer name\SQLEXPRESS>という名前が付けられます。Attendant Console Serverをインストールする際は、SQL Dbインスタンスがデフォルトで<Computername>に設定されていると仮定して、この設定は変更できません。



ステップ4：必要なSQL Express Serverをインストールした後、Microsoft SQL Server Management Studioを使用してログインできることを確認します。SA Userを有効にするには、**Microsoft SQL Server Management Studio > Object Explorer > Expand Security > Expand Logins**に移動します。次に、saを右クリックし、プロパティを選択し、パスワードを入力します。図に示すように、[Status]ページの[Login]で[Enabled]を選択します。



ステップ5：古いCUACシステムからATCFGとATLOGを復元します。

注：この手順は、SQLデータベースの移行手順に基づいています。ただし、SQL管理者の関与が推奨されます。

ステップ6:ATCFGとATLOGを復元してSQLのインストールが完了したら、CUAC 11.0.2のインストールを続行します

『Cisco Unified Attendant Console Advanced Administration and Installation Guide for CUAC』に従ってください。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucmac/cuaca/11_0_2/install_admin_guide/CUACA110201WAG.pdf

インストール中（データベースウィザード）に、既存のデータベースを上書きするかどうかを選択するメッセージが表示されます。このオプションは、ATCFGとATLOGを使用したSQL 2008 Expressがインストール設定で認識されるためです。したがって、このデータベースを上書きするかどうかについてAdminから入力する必要があります。

図に示すように[NO]をクリックし、インストールをさらに進めます。



確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報ははありません。